

第六次南風原町総合計画 第2回 審議会 議事要旨

1 開催日時

令和8年7月21日(火) 10:00~12:00

2 開催場所

南風原町役場 3階 庁議室

3 出席者

区分	名前	活動、所属等	分野
会長	島袋 隆志	知識経験者(大学教授)	住民自治・教育
副会長	小井土 恵美	知識経験者	産業・都市基盤
委員	桃原 一彦	知識経験者(大学教授)	住民自治・教育
	城間 敏夫	知識経験者	産業・都市基盤
	柴山 睦子	知識経験者	教育
	諸見里 元	知識経験者	産業・観光・文化
	外間 啓子	知識経験者	教育
	宮城 康	知識経験者	農業・産業
	親泊 明美	知識経験者	教育
	金城 敬宝	知識経験者	都市基盤
	金城 京一郎	町商工会 会長	商工・観光
	大城 孝雄	琉球絆事業協同組合 理事長	産業・文化
	島袋 康史	社会福祉協議会 事務局長	福祉
	當眞 めぐみ	宮平自治会 会長	住民自治
	新垣 圭一	町職員	行政
事務局	企画財政課 企画統計班		
委託事業者	株式会社エコパル舎		

4 次第

1.開会

2.議事

(1)第 1 回審議会の確認事項について

(2)まちづくり目標1 協働でつながりひらかれたまち（自治・協働・DX）

(3)まちづくり目標3 活気と安心がひろがり住み続けたいまち

（産業・雇用・都市基盤・安全・安心・環境）

(4)行財政運営

3.その他

4.閉会

5 会議資料

○資料－6 第 2 回審議会 次第

○資料－7 修正箇所一覧表

○追加資料－1 第 1 回審議会の議事要旨

6 議事内容

1. 開会

○事務局より開会のあいさつを行った。

2. 議題

(1)第 1 回審議会の確認事項について

○事務局より資料－7の説明を行った。

○質疑応答

委員：「行財政運営」を「行財政経営」に修正を行っているが、注釈があると説明しやすいと思われる。

(2)まちづくり目標1 協働でつながりひらかれたまち（自治・協働・DX）

○事務局より資料－4(P29～33)の説明を行った。

○質疑応答

委員：転入者に対して、どのような方法で自治会への加入を促しているのか伺いたい。

委員：自治会加入案内を手渡しにて配布している。また、町ホームページにて各字の活動情報の提供を行っている。

委員：字別でQRコードがあれば自治会活動が見やすく、加入促進となると思うので、そのような仕組みも作っていただきたい。

委員：仕組みについて、今後検討したい。

委員:自治体DXについて、取組として行っていることを伺いたい。

事務局:オンラインによる各種手続きができるシステムを導入して取り組んでいる。内部業務としては、AIを活用した議事録等の文章作成(文字起こし等)に取り組んでいる。

委員:協働のまちづくりに関して、南風原町では町民と行政がどのようにして協働のまちづくりに取り組んでいくのか伺いたい。

委員:各担当部署が取り組んでいる各種事業の中で協働による取組が行われている。各種計画で協働のまちづくりを念頭に置きながら進めている。

委員:協働のまちづくりに関して、横須賀市が参考になるので拝見していただきたい。

委員:参考にして実現可能なものであれば検討していきたい。

委員:南風原町でのマイナンバーカードの普及率を伺いたい。

委員:78~79%くらいである。

委員:高齢者へのマイナンバーカードの手続きはどのように行っているか。

事務局:本人の意思の確認が必要な事項になるので、本人の意思を確認した後に委任状や代理交付申請による手続きを踏まえてご家族等に委任をして受取としている。

委員:認知症の方への対応はどのようにしているのか。

事務局:認知症の方については意思確認が難しいため、成年後見人制度を活用した上での手続きを行っている。

委員:P30施策の展開「②協働のまちづくりの推進」について、「…経験を有する多様な人材を活用します。」と修正案が示されているが、意図を伺いたい。

事務局:総合計画は南風原町のめざすべき方向性を示すものであるもので、「検討します」という表現は相応しくないと考え、今後は人材を活用する方向で取り組んでいくといった表現として「活用します」に修正した。

委員:「検討・活用します」に修正してはいかがか。

事務局:再度表現について検討する。

(3)まちづくり目標3 活気と安心がひろがり住み続けたいまち

(産業・雇用・都市基盤・安全・安心・環境)

○事務局より資料-4(P48~61)の説明を行った。

○質疑応答

委員:体育館施設の整備についてどうなっているのか伺いたい。

経済建設部長:体育館施設の計画はあるが、中長期的な目線を持って事業の見極めを行っている状況である。守るべきところと都市化を進めるところを明確に分けて、土地改良区は引き続き農業推進・促進に繋げていく考えである。

委員:農地や畑の近くに住宅地が増えてきており、農業者へのクレームが多く、農業がしにくい環境になっている。環境を整えていただきたい。

委員:くがに市場(ファーマーズマーケット南風原)に隣接して道の駅ができれば良いと思う。また、くがに市場近く的高速道路桁下の利活用を検討していただきたい。

経済建設部長：総合計画にて新規産業集積ゾーンに位置づけをしているので、くがに市場がより活性化に繋がるような取組の検討を行いたい。

委員：農業従事者のほとんどが南風原町外で農業をされていると伺っているが、現状はいかがか。

経済建設部長：南風原町の農家が近隣市町村で農業をされている方も多いと思われる。年々、市街化拡大による農地の縮小・減少傾向に伴い、近隣市町村に農地を求めている可能性は高いと思われる。

委員：農業の担い手育成に関して取り組んでいる事業はあるのか伺いたい。

経済建設部長：新規担い手育成事業にて支援の取組を行っている。

委員：農業への理解や町民への意識改革に町が力を入れて取り組んでいただきたい。

委員：耕作放棄地の現状はどうなっているのか伺いたい。

経済建設部長：令和4～6年を比較すると、令和4年が94筆、令和5年が86筆、令和6年が83筆となっている。関係機関と連携し、農地を探している方へのマッチング等を行うことで、筆数・面積ともに年々減ってきている状況である。

委員：前回会議にて地権者の方々に組合型の主導による区画整理の取組を進めている段階であると仰っていたが、地権者だけに任せて進んでいくのか疑問である。町の区画整理課が、スピード感を持って取り組んだ方が良いと思われるので検討していただきたい。就労支援の取組について、町による事業者との求人情報のやり取りはあるのか伺いたい。

経済建設部長：産業振興課にて雇用サポートセンターとして窓口を設けており、ハローワークと連携して情報提供、相談、マッチング等を行っている。

委員：イメージキャラクターのはえるんについて、観光協会と役場のどちらが取り扱っているのか伺いたい。

経済建設部長：はえるんは南風原町が窓口となっている。

委員：ゴミ袋について、製造はしているがスーパーやコンビニでは品薄となっている。

委員：ゴミ袋は発注しており、現在はステッカーを販売して市販の袋に貼り付けて対応している。ステッカーは12月を目途としてゴミ袋に戻す予定ではいるが、タイミングを見ている状況である。

委員：南風原町にてコミュニティバスのようなものはあるのか伺いたい。

経済建設部長：地域公共交通としてモビという移動手段を確保している。今年度が実証運航の最終年度となっているが、分析をして本格運行できるかを含めて検討していく。モビを運航するにあたって南風原町にあった公共交通を検討する際に、コミュニティバスについても検討したが南風原町に不向きであり、タクシーのようにフットワークの軽いモビの運航を行っている経緯がある。

委員：自転車専用レーンについて何か計画などはないのか伺いたい。

経済建設部長：自転車専用レーンについて、ある程度道路の幅員がないとできないものとなっており、集落内などの町道では厳しい。現状では県にて玉城那覇自転車道の計画があり、南風原町が掛かるルートとしては役場前～兼城十字路～新川交差点～環状二号線～首里

城を位置づけて計画されている。将来的には自転車専用レーンが設けられる予定である。

(4)行財政運営

○事務局より資料－4(P62～67)の説明を行った。

○質疑応答

委員：他の町村と比べた民生費の割合はどうなのか伺いたい。

民生部長：町の一般会計予算の約半分が民生費となっているが、県内他町村でも同じような割合で、5割～6割となっている。背景としては、児童手当が高校生まで引き上げられたことや高齢者への支援による支出が増え、割合が大きくなっている状況である。

委員：5年後の目標値「行政サービスに対する満足度」について、令和2年から令和7年の現状値が微減しているが、アンケート調査の自由記述から分析を行っているのか伺いたい。

事務局：行政サービスに関する満足度の自由記述について細かく確認を行い、こちらの項目だけではなく他の施策の分野にも関連するところには反映している。

3. その他

○事務局より第3回審議会の開催の通知を行った。

4. 閉会

○事務局より閉会のあいさつを行った。

以上

第2回審議会におけるご意見と考え方

No.	ページ	意見	考え方
1	P29 ～30	転入者に対して、どのような方法で自治会への加入を促しているのか伺いたい。 字別でQRコードがあれば自治会活動が見やすく、加入促進となると思うので、そのような仕組みも作っていただきたい。	自治会加入案内を手渡しにて配布している。また、町ホームページにて各字の活動情報の提供を行っている。 仕組みについて、今後検討したい。
2	P29 ～30	協働のまちづくりに関して、南風原町では町民と行政がどのようにして協働のまちづくりに取り組んでいくのか伺いたい。	各担当部署が取り組んでいる各種事業の中で協働による取組が行われている。各種計画で協働のまちづくりを念頭に置きながら進めている。
3	P30	施策の展開「②協働のまちづくりの推進」について、「…経験を有する多様な人材を活用します。」と修正案が示されているが、意図を伺いたい。 「検討・活用します」に修正してはいかがか。	総合計画は南風原町のめざすべき方向性を示すものであるので、「検討します」という表現は相応しくないと考え、今後は人材を活用する方向で取り組んでいくといった表現として「活用します」に修正した。 再度表現について検討する。
4	P32	自治体DXについて、取組として行っていることを伺いたい。	オンラインによる各種手続きができるシステムを導入して取り組んでいる。 内部業務としては、AIを活用した議事録等の文章作成(文字起こし等)に取り組んでいる。
5	P32	南風原町でのマイナンバーカードの普及率を伺いたい。	78～79%くらいである。
6	P32	高齢者へのマイナンバーカードの手続きはどのように行っているか。 認知症の方への対応はどのようにしているのか。	本人の意思の確認が必要な事項になるので、本人の意思を確認した後に委任状や代理交付申請による手続きを踏まえてご家族等に委任をして受取としている。 認知症の方については意思確認が難しいため、成年後見人制度を活用した上での手続きを行っている。
7	P48	くがに市場(ファーマーズマーケット南	総合計画にて新規産業集積ゾーンに

	～49	風原)に隣接して道の駅ができたら良いと思う。また、くがに市場近くの高速度道路桁下の利活用を検討していただきたい。	位置づけをしているので、くがに市場がより活性化に繋がるような取組の検討を行いたい。
8	P48 ～49	農業従事者のほとんどが南風原町外で農業をされていると伺っているが、現状はいかがか。	南風原町の農家が近隣市町村で農業をされている方も多いと思われる。年々、市街化拡大による農地の縮小・減少傾向に伴い、近隣市町村に農地を求めている可能性は高いと思われる。
9	P48 ～49	農業の担い手育成に関して取り組んでいる事業はあるのか伺いたい。	新規担い手育成事業にて支援の取組を行っている。
10	P48 ～49	耕作放棄地の現状はどうなっているのか伺いたい。	令和4～6年を比較すると、令和4年が94筆、令和5年が86筆、令和6年が83筆となっている。関係機関と連携し、農地を探している方へのマッチング等を行うことで、筆数・面積ともに年々減ってきている状況である。
11	P49 ～50	就労支援の取組について、町による事業者との求人情報のやり取りはあるのか伺いたい。	産業振興課にて雇用サポートセンターとして窓口を設けており、ハローワークと連携して情報提供、相談、マッチング等を行っている。
12	P50 ～51	イメージキャラクターのはえるんについて、観光協会と役場のどちらが取り扱っているのか伺いたい。	はえるんは南風原町が窓口となっている。
13	P56 ～57	南風原町にてコミュニティバスのようなものはあるのか伺いたい。	地域公共交通としてモビという移動手段を確保している。今年度が実証運航の最終年度となっているが、分析をして本格運行できるかを含めて検討していく。モビを運航するにあたって南風原町にあった公共交通を検討する際に、コミュニティバスについても検討したが南風原町に不向きであり、タクシーのようにフットワークの軽いモビの運航を行っている経緯がある。
14	P56 ～57	自転車専用レーンについて何か計画などはないのか伺いたい。	自転車専用レーンについて、ある程度道路の幅員がないとできないものとなっており、集落内などの町道では厳

			しい。現状では県にて玉城那覇自転車道の計画があり、南風原町が掛かるルートとしては役場前～兼城十字路～新川交差点～環状二号線～首里城を位置づけて計画されている。将来的には自転車専用レーンが設けられる予定である。
15	P58～59	ゴミ袋について、製造はしているがスーパーやコンビニでは品薄となっている。	ゴミ袋は発注しており、現在はステッカーを販売して市販の袋に貼り付けて対応している。ステッカーは12月を目途としてゴミ袋に戻す予定ではいるが、タイミングを見ている状況である。
16	P62	「行財政運営」を「行財政経営」に修正を行っているが、注釈があると説明しやすいと思われる。	「行財政経営」に注釈を入れる。
17	P63～65	一般会計予算について、他の町村と比べた民生費の割合はどうなのか伺いたい。	町の一般会計予算の約半分が民生費となっているが、県内他町村でも同じような割合で、5割～6割となっている。背景としては、児童手当が高校生まで引き上げられたことや高齢者への支援による支出が増え、割合が大きくなっている状況である。
18	P67	5年後の目標値「行政サービスに対する満足度」について、令和2年から令和7年の現状値が微減しているが、アンケート調査の自由記述から分析を行っているのか伺いたい。	行政サービスに関する満足度の自由記述について細かく確認を行い、こちらの項目だけではなく他の施策の分野にも関連するところには反映している。

